

よこたに しっちしょくせい
横谷の湿地植生

種 別	小松市指定文化財 天然記念物
指定年月日	平成 15 年 11 月 3 日
所 在 地	丸山町

丸山町横谷の湿地は、大山（標高 956m）から東南方向へ約 1 km に位置し、長さ約 350m、最大幅約 50m の細長い平坦な窪地で、湿地部の面積は約 1.2ha、標高は 880 m である。

かつては水田として利用されていた湿地で、近くの分水嶺からの沢水が広まり、ミズバショウに代表されるブナクラス域（落葉広葉樹林域）の山間湿地性草本植物群落が発達している。

特徴的な湿地性植物として、ミズバショウ（開花期 4 月下旬～5 月上旬）、レンゲツツジ（開花期 5 月下旬）、トキソウ（開花期 6 月中旬～7 月上旬）、エゾリンドウ（開花期 9 月中～10 月中旬）の 4 種類があげられる。

これらのうちレンゲツツジを除く 3 種は石川県レッドデータブックに掲載されている希少種で、とくにトキソウは環境省レッドリストにおいて準絶滅危惧に該当する。

こうした複数の貴重な植物群落が大規模に存在しており、多様性に富んだ山間湿地である。



トキソウ



エゾリンドウ



ミズバショウ



レンゲツツジ